

みはらふくし情報

ぼら せんだより 7月



平成 29 年度 中学生・高校生のボランティア活動きっかけ講座

教えてセンパイ！ センパイの一步 聞いてみたくない？

ボランティア
って何だろう？

この講座では、中学生・高校生の皆さんに、経験者の話から文化の違いや活動の様子、また、他国に限らず三原市での地域活動の様子も学び、「今、自分にできることは何か」を考えることを目的にしています。

日 時：8月22日（火）10時30分～12時

申込締切
8月18日
（金）

会 場：サン・シープラザ4階 第2研修室

定 員：18人

内 容

参加費：無料

- ☆センパイ（講師：^{からい}唐井ゆかりさん）
 - ・ JICA（ジャイカ）での活動
 - ・ 三原市での地域活動
- ☆フリートーク（講師と一緒に）

対 象：中学生・高校生

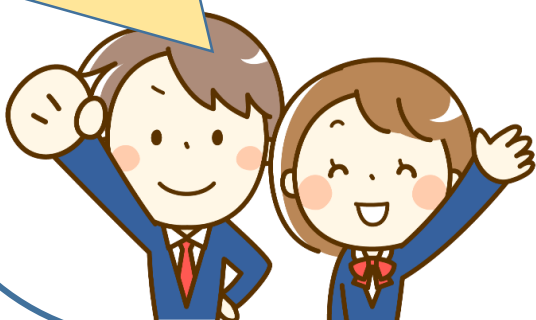
JICAとは…

独立行政法人国際協力機構（JICA／ジャイカ）は、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。

センパイの紹介…

2年間 JICA で青年海外協力隊として活動。西アフリカのガーナで、HIV陽性の親子をサポートする民間NGOで、主に子どものサポートとして支援活動を行われました。平成25年からは、三原市大和町に移住し、住民と地域活性化に努められています。

「ボランティアとは何か」を学びながら、自分にできることを考えてみましょう。新しい自分を発見するきっかけになるかもしれませんよ。



【申し込み・お問い合わせ先】

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

TEL 0848-67-9339

FAX 0848-63-0599

Mail miharavs-c@m-shakyo.jp

主催：三原市社会福祉協議会

紹介します！ 三原奇術クラブ

梅雨入り前の頃、三原慶雲寮で三原奇術クラブがマジックを披露しました。平成 18 年から、毎年春に三原慶雲寮を訪れています。この日は新たに加わったマジックも含め約 1 時間、みなさんと楽しいひと時を過ごしました。



白い輪が…
赤いチーフを通ると…
赤い輪に！！



白いハトも出てきたよ！！
内容盛りだくさんの、笑顔あふれる会場でした。



わ～っ！
どこから旗が出てくるの？
(^o^)



みはらみなとマリンデイ

場所：三原港 東公園周辺

7/17(月・祝)
13時～20時

14時～15時30分

魅力発見 宝探し
ワークショップ
定員30名 無料
(飲み物・お菓子付き)

17時～20時

おいしいフードとドリンク
で、ライブをお楽しみください！
(カレー・ホットドック・タコ料理等)

13時～20時

小早川水軍の
紹介パネル展示

18時～

ヨットクルーザー
ライトアップ



さあ！みなさんそろって、
夏の港で楽しい時間を過ごしませんか？

【連絡 & 問合せ先】

主催：NPO法人みはらまちづくり 兎っ兎
TEL：0848-63-5575
三原市城町 3-1-1 (港湾ビル 1F)
Mail：mihara@totto.info

兎っ兎では、
ソフトドリンクやコー
ヒーをお楽しみだけ
できますよ♪

三原城築城 450 年

子ども達に伝える 人形劇・紙芝居 発表会

7月29日(土)

13時30分
～15時30分

みはら歴史館
入場無料

三原城築城450年を機に、将来を担う子ども達に三原の歴史や小早川隆景の人物像などを伝える目的で、各団体が人形劇、紙芝居を作成しました。多くの子ども達の記憶にとどめて、将来に継承していくきっかけとして発表会を開催します。

みんなで 見にきてね!

主催：NPO法人みはらまちづくり兔っ兔 TEL：0848-63-5575

ほんごう
子ども図書館
「三原城と隆景」

子ども達の手作りの紙芝居。隆景のことを子どもたちにわかりやすく伝えます。

ねむの木
「三原市
みはらしえーぞ」

創作つみあげ紙芝居です。歴史を未来に・三原城築城450年。

NPO法人みはら
まちづくり兔っ兔
「たけし隆景に
出会う編」

隆景を身近に感じ、自ら学べるきっかけとして作成した紙芝居です。

浮城パペット
サークル
「浮城ものがたり」

三原市中央公民館主催の人形劇創造講座で学んだメンバーで活動しているサークルです。

紹介
します!

読み語りボランティア「ねむの木」

読み語りボランティア「ねむの木」は、読み語りを通じて、子ども達に本の楽しさを伝えたい、本を通じて夢や希望を、こころに温もりをモットーに活動しています。

図書館、ブックスタート、保育所、小学校、中学校、高齢者施設、病院、子育て支援センター等に要請があればどこでも出向いて読み語りをしています。

年齢構成や経験等、幅広く愉快的な仲間達。定例会は毎月第4木曜日10時～12時、サン・シープラザ4階です。会員は随時募集中!

創作つみあげ紙芝居
「三原市みはらしえーぞ」



どんなお話
なのでしょ
うか?わくわ
くしますね!
(*^_^*)

つみあげ話とは、前の場面の言葉が、次の場面の言葉につみ重なって展開し、最後にひとつに重なるものです。

ボランティア活動の 事故防止・軽減 のための 10大ポイント！

日々のボランティア活動、ありがとうございます。「事故防止・軽減のための10大ポイント」をご一読いただき、有意義な活動を元気に続けていただきたいと思います。

事故は、突然起こります。「私は大丈夫！」「これくらいなら平気！」油断が大きな事故につながってしまうこともあります。

これから夏に向けてどんどん暑くなりますので、こまめに水分をとるなど熱中症予防にもお気をつけ下さいね。(*^_^*)



社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国ボランティア・市民活動振興センター ボランティア情報
3月号より抜粋

1. 体調が悪い時は決して無理をしないこと。
健康と体調は全ての基本です。体調が悪いときは活動を見合わせることも重要です。「無理をする」＝「自らケガをしに行く」、「他人に迷惑をかける可能性がある」と認識しましょう。

2. 情報収集(事前の安全確認と日常点検)をしましょう。
活動場所や活動内容、往復途上の交通状況などの情報収集は、参加される活動のリスクを事前に予知するための基本です。収集した情報は、事故の未然防止や軽減に大いに役立ちます。



3. 活動に適した服装を！
活動される内容、季節、天候などを照らし合わせ、適した服装で活動することが事故防止の基本です。
帽子→熱中症予防。履きなれた運動靴→動きやすく、転倒防止。
軍手→切傷など軽微な事故の防止。

4. 自宅を出てから帰るまでが活動です。焦らず、気を抜かないこと。
集合時間に遅れそうなときは、連絡の上、焦らずに活動場所に向かいましょう。焦ると周りが見えなくなります。また、活動を終えてもホッとして気を抜かないこと。帰り道での交通事故も多く発生しています。

5. 活動前には準備運動、ストレッチを！
ボランティア活動はスポーツと同じです。急激に動くと思わぬケガをすることがあります。ストレッチなどで体を十分にほぐし、あたためてから活動を開始しましょう。

6. 責任者の説明にはしっかり耳を傾けること。
自分自身であらかじめ気づいていなかった危険を確認する機会です。事前の説明にはしっかりと耳を傾けましょう。また、勝手な思い込みや独断は禁物です。

7. 疲れを感じたら遠慮せずに休憩を。 随時、水分補給をしましょう。
疲れたときは、注意力が散漫になり、慎重な活動ができなくなる可能性が高くなります。「疲れた」と実感する前に、「ちょっと疲れたな」と感じた時には、周囲の人に遠慮することなく休憩をとりましょう。

8. 過信は禁物。 今の自分にできることをあらかじめ認識しましょう。
「以前はこのくらいできたから今でも大丈夫」は危険です。今の自分にできることを自ら認識して、他のボランティアの方々と協力して活動しましょう。このぐらいやっても大丈夫、といった自己判断、過信は禁物です。

9. 特に足元には注意！（転倒事故の防止）
足元への注意は事故防止の基本です。実際に発生している事故全体の約70%は転倒事故です。屋内・屋外を問わず、足元には十分注意を払って転倒事故を未然に防ぎましょう。



10. 周囲の方々と協力して、情報の共有を図りましょう。
ボランティア活動は他の活動参加者や利用者と協力して行うものであることを認識しましょう。(例えば、重いものは複数人で運ぶ、脚立に乗るなど足元が不安定な場合は支えてもらう、危険な場所の情報はお互いに共有する等々)活動中は、お互いに声を掛け合うことで、突発的な危険を防止することにもつながります。

●みはら市民協働サイト つなごうねっと ●

三原のイベントや団体の情報満載！

<http://mihara.genki365.net/>

ボラセンのパソコンでご覧になれます

発行：三原市社会福祉協議会

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

〒723-0014 三原市城町1丁目2-1

(サン・シープラザ 4階)

電話 (0848) 67-9339

FAX (0848) 63-0599

Mail miharavs-c@m-shakyo.jp